



都市の日常



Rickshaw



三輪バイクのリキシャ(左上)、食事の様子(右上・左下)、昔ながらの黄色いタクシー(右下)



スーダンの首都、ハルツーム。青ナイルと白ナイルが合流する地点に位置し、広範囲に「街」が広がっています。

ハルツームでの生活はとても賑やかで、便利です。舗装された道が広がり、たくさんの車が走っています。自家用車以外にはバス・リキシャ(3輪バイク)・タクシーで移動するのが一般的です。タクシーについて、ここ最近では配車アプリが急速に広まっています。このサービスを使えば炎天下の路上で車を待たなくて良いため、みんなとても助かっています。

都市部の主食はパンです。それに、トマトベースのシチューや肉料理、ヒヨコ豆のコロッケ、豆料理などがよく食べられています。朝ご飯は11時ぐらいとちょっと遅めですので、私たち日本人スタッフも、



have a nice day!

ロシナンテス事務所でスーダン人スタッフと一緒に食べています。食事はみんなが揃ってからいただくのがスーダン流です。朝食だけでなく、昼食は16時、夕食は22時頃とスーダンの食事時間は全体的に遅いのが特徴です。

ハルツームではライフラインもかなり整備されています。電気がほとんどの世帯で使えるほか、水についても水道が整備されており、蛇口をひねれば水が出ます。水圧は弱いものの、日本とはほぼ同じ感覚です。炊事や給湯にはプロパンガスを使用しています。



上空から見たハルツーム(上)、日本とあまり変わらないトイレやシャワーが利用できます(左)

Delicious meal!

ANNUAL REPORT
2017.4-2018.3



مرحبا هناك

スーダンの日常、普段の風景と生活

喧騒の大都会と静穏の村々。
笑顔溢れる、それぞれの暮らし。



生活しやすいように工夫された、手作りの住居

村落の日常

水は給水所から運んできて使っています



村での暮らしはどんなものでしょうか。ロシナンテスが活動しているシャルガニール地域は、ハルツームから車で2時間ほどしか離れていません。ですが、暮らしぶりはかなり異なっています。

まず家。こちらは手作りであることがほとんどです。風通しを良くするなど、昔からの知恵を活かした工夫がされています。交通手段は徒歩やロバですが、村が小さいので移動に時間はあまりかかりません。重たい水などを運ぶのはラクダやロバです。

電気もガスもないため、炊事には炭を使用します。主食はソルガムなどが原料のアシーダやキスラと呼ばれるものに、トマトベースのシチューなどをかけます。

hello!



野外教室でコーランやアラビア語などを学ぶ子どもたち(左上・左中央)、炭を使った炊事(右上)、ラマダン中の食事の様子(左下)



食事はテーブルではなく、ゴザを敷いてみんなでいただきます。

村落では水がなにより貴重です。だから使い終わった食器はできるだけ少ない水で洗います。買い物は男性や子供の仕事で、女性は主に家事を担当しています。

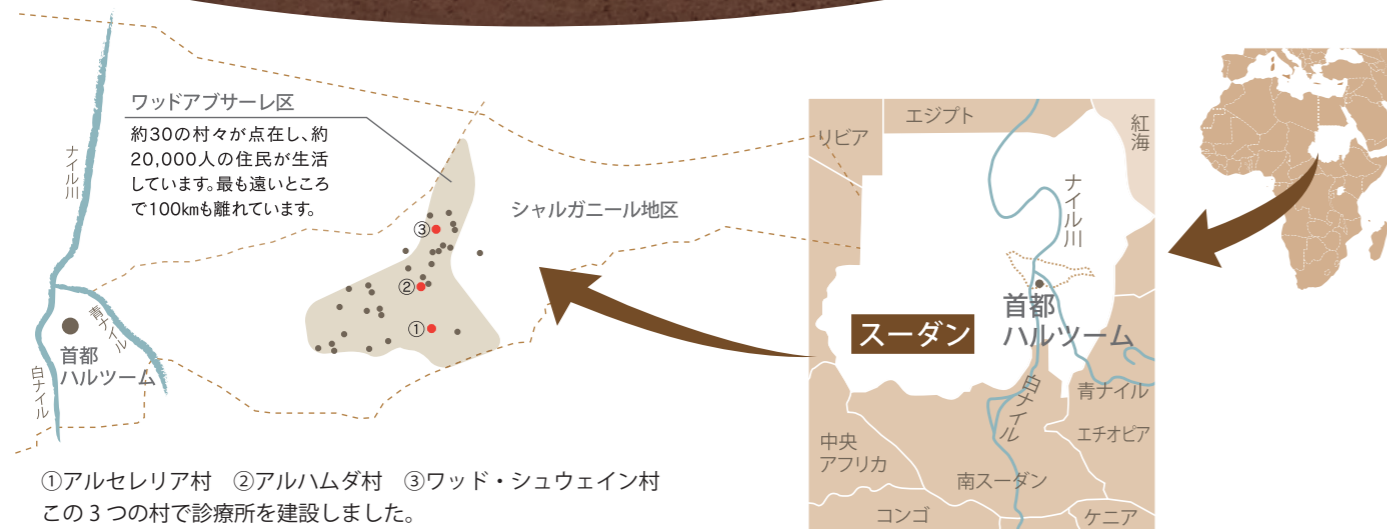
夕方を過ぎ暑さがやわらくと、住民はみな屋外にベッドを出して家族やご近所さんと話しながら過ごし、子供達はサッカーなどで体を動かします。そして、夜には空いっぱいの星を見ながら就寝します。スーダンの村落では、時間がゆっくりと流れています。



「医」を届ける。

何かあったとき、街の病院に行くための車を借りるのではなく、数週間も先の巡回診療を待つでもなく、家の近くにある診療所で診てもらえる。そんな、身近な医療を実現するため、2015年、私たちはスーダンの村で診療所建設を行いました。

2018年1月までに、ハルツーム州の3村に診療所が完成。日本の皆さまからのあたたかいご支援と、スーダンの人々の協力により誕生した診療所です。診療所では、行政機関でトレーニングを積んだ医療スタッフが住民を診療します。



例えば風邪をひいたときや、熱が下がらないとき。出産を控えたお母さんの体調が良くないとき。幼い子どもの発育状況を診てもらいたいとき。以前は月に一度の巡回診療に頼っていた村に、「何かあったらすぐ行ける」と思える場所ができたことで、住民の安心感が高まります。今後、村では診療所を舞台に住民が集い、住民参加型の地域医療が行われていくことでしょう。地域で健康を管理

することができる診療所の存在は、住民の命を救い、子どもたちの夢をつなぎます。診療所で健診や予防接種を受けた子どもたちが、健やかに成長する。子はやがて大人になり、地域の未来を支えます。村の学校の先生になり、次の子どもたちの夢を育てることもあるでしょう。村の診療所の医師として住民のいのちを救うかもしれません。そんな未来が、ここから始まります。

「医」が、明るく健やかにいきる未来をつくる。そう信じて、私たちはこれからも、目の前の困っている人とともに歩み続けます。

2017年度 事業実績

巡回診療

期間	2017年1月～12月
地域	スーダン共和国ハルツーム州シャルガニール地域 ワッドアブサーレ区
対象	29村に居住する約20,000人
方法	砂漠地帯に点在する無医村を巡回し、 基礎的医療サービスを提供する
実績	5P参照

診療所建設

期間	2015年12月～2018年1月
地域	スーダン共和国ハルツーム州シャルガニール地域 ワッドアブサーレ区
建設地	アルセレリア村、アルハムダ村、ワッド・シュウエイン村
対象	建設地及びその近隣に居住する住民 3村合計 12,000人
実績	2018年1月の3棟目完成(ワッド・シュウエイン村)をもって建設完了
今後	2棟目(アルハムダ村)及び3棟目(ワッド・シュウエイン村)の運営に向け保健省との協議を継続

栄養改善事業

期間	2017年1月～12月
地域	スーダン共和国北コルドファン州オンムダム・ハージ・アハメド地域
対象	当該地域に居住する乳幼児及び妊産婦/授乳婦
方法	栄養状態を簡易的に測定し、不良が認められた場合に 栄養補助剤を配給する
実績	乳幼児 3,532人、妊産婦/授乳婦 698人に栄養補助剤を配給した



巡回診療 PHOTO>>>1.2

2013年よりシャルガニール保健局とともに、ハルツーム州ウッドアブサーレ区で巡回診療を強化してきました。巡回診療の移動手段である車の確保と整備を行い、確実に29の村を回れるようにしました。また、巡回診療スタッフに対し、日本から招いた専門家による教育を行いました。この活動の結果、診療スタッフは体重計の目盛りが読めるようになり、診療記録をつけることができるようになりました。また母親の疑問や不安についても、きちんと対応できるようになっています。そして昨年、この地域での巡回診療はハルツーム州保健省に引き継ぎました。現地の人々が互いに協働して巡回診療を継続することができるよう、今後も自主的な

運営への支援を行っていきます。さらに、2018年度は新たな地域で巡回診療を行う予定です。

患者総数	1,845 人
検査実施数	1,102 件
ワクチン接種数	3,858 回
栄養状態の検査実施数	6,642 件
妊産婦検診数	2,171 件
産後健診数	566 件
出産数	541 人

診療所建設

広い地域をカバーする巡回診療に対して、診療所はより身近な医療を常時提供することができます。その観点から「土とレンガの診療所プロジェクト」において、診療所建設を進めてきました。おかげさまで皆さまから約3,000万円のご支援をいただき、2018年1月にはウッド・シュウェイン村に診療所を完成させることができました。アルセリア村とアルハムダ村に続き、これで3棟すべての診療所が完成したことになります。建設にあたっては、3棟それぞれで住民からの協力が得られました。

2月には、ハルツーム州知事、州保健大臣出席のもと、アルセリア村とアルハムダ村の診療所で開所式が執り行われました。アルセリア村の診療所では、もともと地域に住んでいた住民がスタッフとして雇われ、州保健省によるトレーニングを受けています。アルハムダ村、ウッド・シュウェイン村の診療所運営も同様に、その地域に暮らす人を雇用し、州保健省での教育後に診療所で働けるよう、

現在、準備を進めています。

今後もこうした形で地域の雇用創出や活性化に貢献しながら、この診療所が地域医療のシンボルとなるよう、住民を中心とした医療に向けて支援を続けていきます。また巡回診療事業との連携を図っていきます。



水事業 PHOTO>>>3

2017年度はウッド・シュウェイン村で、トイレの設置と健康教育の実施に向けた事業計画を立て、準備を進めてきました。

アルセリア村では古井戸の改修工事を進めており、2018年度中には完了する予定です。改修が終わると、約5,000人の住民に安全な水が届けられるようになります。隣の村まで水を汲みに行く必要がなくなれば、村人の生産性の向上にもつながると期待されています。

また、新たに水事業を開始する場所として、北コルドファン州オムダム・ハージ・アハメド地域を選びました。ここはWFPと協働で栄養改善事業を行なっている地域です。ナイル川から離れているため水の確保が難しく、住民皆がきれいな水を待ち望んでいます。2018年度に、この地域で新しく井戸を掘り、給水所を建設する予定です。完成すれば同地域の住民約7,000人へ安定した水が供給できます。

井戸は掘ったら終わりではありません。完成した暁には、井戸の

管理を住民たちで行えるよう運営委員会を組織し、適切な水利用の重要性を伝える健康教育を企画していきます。

井戸、給水所そしてトイレなどの水に関わる設備は住民の健康に直結するものです。私たちは今後もこの領域での活動を続けていきます。



栄養改善事業 PHOTO>>>4

「北コルドファン州の子どもたちは栄養状態が良くない」という国連WFPからの報告を受け、2015年より同州のオムダム・ハージ・アハメド地域で栄養改善事業を行なっています。栄養不良の影響が一番受けやすいのは、生後6か月から59か月までの子ども、そして妊産婦や授乳婦です。そこでまずは、7か所ある地域の診療所で栄養状態の判定を行います。判定は保健省の基準に沿って進められ、栄養不良と判断された場合は栄養補助剤を渡します。その後は、回復までの過程をフォローできるよう、定期的な受診を薦めています。

2017年度は、5歳以下の乳幼児3,532人、妊産婦・授乳婦698人に対して、栄養補助とフォローアップを行いました。

また、次の栄養不良を生まないために、知識を広める取り組みの一つとして、栄養の意識向上をめざしたワークショップを開催しています。これらの活動に加え、ボランティアや栄養アシスタントによる地道な活動の結果、これまで90%以上の例で栄養不良が改善されました。北コルドファン州では、まだ栄養を必要としている子どもや母親が大勢います。今後もWFPやSIDO、そして州保健省や現地の人々とこの事業を続けていきます。

5歳以下の乳幼児3,532人
に対してフォローアップ、栄養補助
妊産婦・授乳婦698人
に対してフォローアップ、栄養補助



活動報告会 PHOTO>>>1

前年度に引き続き、主催イベント「活動報告会」を開催しました。2017年度は北九州と東京の2会場で開催。2017年の春と秋、2018年の冬で合わせて500名を超える方々にご参加いただきました。



2017年10月の活動報告会では、ロシナンテスを10年以上支えてくださっている写真家・内藤順司様にスペシャルゲストとしてご登壇いただき、川原との対談を実施しました。2018年2月の活動報告会は、公益社団法人東京都看護協会様からのご協力のもと、同協会の会館で開催させていただきました。

活動報告会は、ロシナンテスからの一方的な情報発信ではなく、支援者の皆さまと情報交換できる貴重な場となっております。

2018年度以降も継続的に開催して参りますので、ぜひ会場にお越しください。皆さまにお会いできることを楽しみにしております。

総実施回数	6回
総参加者数	571名

クラウドファンディング

2017年4月から6月にかけて、ロシナンテスとして2回目となるクラウドファンディングに挑戦しました。今回のクラウドファンディングでは、スーダン事業部ファイナンシャル・マネージャーとして当時ロシナンテスに加わったばかりの田才が実行者となり、「スーダンの砂漠地帯に暮らす1万人に安全な水を届けたい!」というタイトルで、スーダンでの活動に欠かせない四輪駆動車の購入費用を募集しました。多くの皆さまのご協力により、開始から1ヶ月を待たずして目標金額の500万円を達成し、最終的に722万8千円のご支援が集まりました。

皆さまからのご支援で手に入れることができた四輪駆動車

は既にスーダンに届き、市街地から100km以上離れた場所にある活動地への貴重な移動手段として、大切に使用させていただきます。



<https://readyfor.jp/projects/rocinantes02>

東京事務所開設 PHOTO>>>2

2017年11月19日に開催されたロシナンテス臨時総会において、定款変更が承認されました。変更内容の1点目はロシナンテスがスーダン以外の国で活動できるようになること、2点目は北九州に加え東京に事務所を設置することです。

同年12月、定款変更に基づき、東京都新宿区にロシナンテス東京事務所を開設しました。東京事務所は、そのアクセスの良

さを活かした機能を発揮する予定です。具体的には、外務省やスーダン大使館等との協議、活動報告会等のイベント開催、様々な地域から東京に集まってくる人材の確保等です。今後は、「北九州という地方都市に本部を置く」というロシナンテスのアイデンティティを大切にしながら、「北九州本部」と「東京事務所」という国内2拠点の体制で活動を続けて参ります。

「ロシナンテス水基金2018」開始 PHOTO>>>3

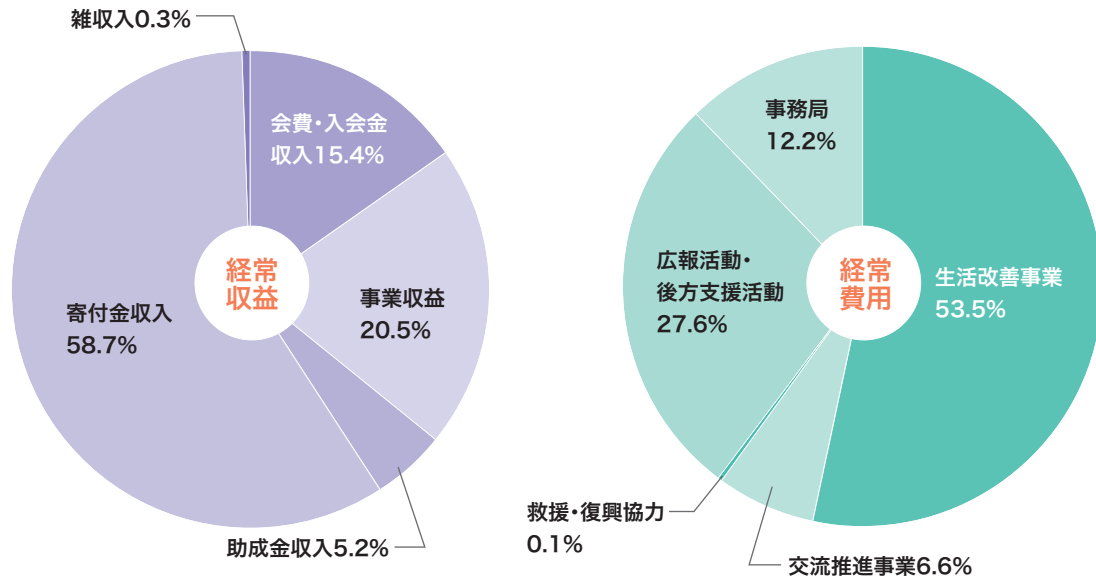
2018年3月、清水寺様と協働で、水事業のための「ロシナンテス水基金2018」を開始しました。

ロシナンテスが2015年から栄養改善プロジェクトを実施している北コルドファン州にオンムサマーマという村があります。村には現在稼働している井戸が2基ありますが、1万人の住民を支えるのに十分な給水力がなく、水を得るため早朝から給水所に並んでも配給を受けられない人々が数多くいます。井戸水が手に入らなかった住民は生きてゆくために汚濁した水を汲んで飲まざるを得ず、汚濁した水は感染症を引き起こします。また、主に女性や子どもの仕事とされている水汲み労働は、女性の就労や子どもたちの就学の機会を阻害しています。2018年3月、ロシナンテスは、村へ水を届けるための井戸掘削・給水所建設プロジェクトの実施を決定しました。事業実施のための資金調達に取り組む中で、清水寺様が「生命の根源であり、命を守り育む水を届けたい」というロシナンテスの思いに共感してくださり、

協働での募金活動に至りました。

水基金を通じ、2018年4月中に535万266円のご支援をいただき、目標金額であった500万円を達成しました。皆さまの「想い」をカタチにするべく、2018年度はスーダンで給水設備設置に関する具体的な協議を進めて参ります。





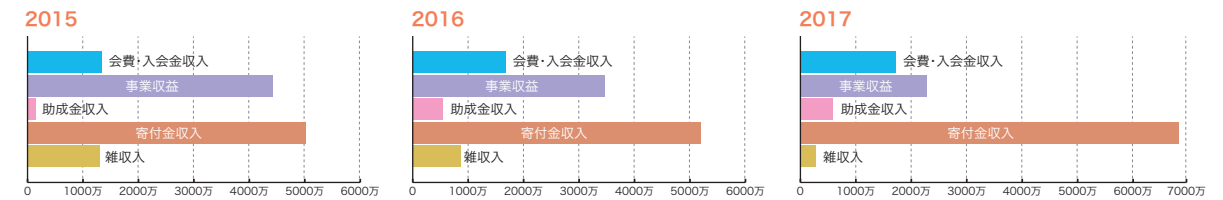
活動計算書

		(単位:円)
經常収益	①会費・入会金収入	17,912,438
	②事業収益(受託事業収入:JICAほか)	23,831,077
	③助成金収入(TOTO水環境基金ほか)	6,000,000
	④寄付金収入	68,312,834
	⑤雑収入	312,601
	經常収益計(A)	116,368,950
經常費用	海外活動費	
	①生活改善事業(保健医療事業、水衛生事業)	46,024,310
	②交流推進事業(人材交流事業)	5,634,225
	国内活動費	
	③救援・復興協力事業	99,605
	④広報活動・後方支援活動	23,741,011
	⑤事務局	10,476,860
經常費用計(B)	85,976,011	
為替差損(C)		26,602,690
法人税(D)		86,800
当期正味財産増減額(A-B-C-D)		3,703,449
前期繰越正味財産額		168,153,891
次期繰越正味財産額		171,857,340

収益推移

(単位:円)

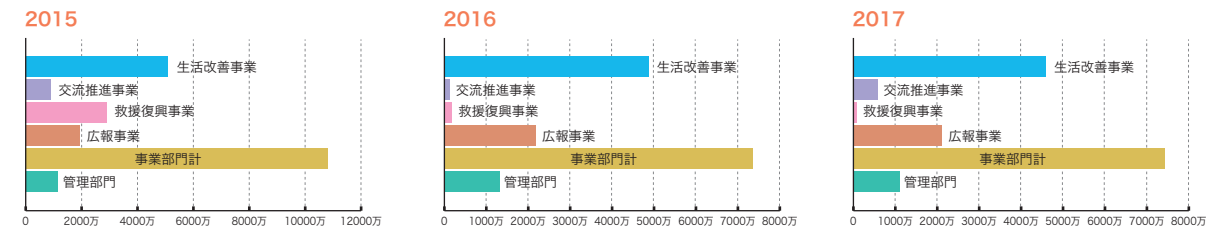
収益	2015	2016	2017
会費・入会金収入	13,895,500	16,751,923	17,912,438
事業収益(受託事業収入:JICAほか)	44,179,776	34,719,233	23,831,077
助成金収入(TOTO水環境基金ほか)	1,447,982	5,380,670	6,000,000
寄付金収入	50,181,738	51,980,876	68,312,834
雑収入	13,021,656	8,610,649	312,601
合計	122,726,652	117,443,351	116,368,950



費用推移

(単位:円)

収益	2015	2016	2017
生活改善事業	50,680,882	48,700,751	46,024,310
交流推進事業	9,071,643	1,397,885	5,634,225
救援復興事業	29,184,559	1,787,456	99,605
広報事業	19,302,268	21,705,298	23,741,011
事業部門計	108,239,352	73,591,390	75,499,151
管理部門	11,424,793	13,168,688	10,476,860
合計	119,664,145	86,760,078	85,976,011



正味財産推移

2014年度決算 正味財産額	2015年度増減額	2016年度増減額	2017年度増減額	2017年度決算 正味財産額
123,251,628	7,292,862	37,609,401	3,703,449	171,857,340



スタッフ紹介

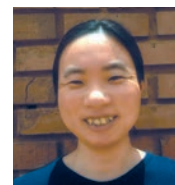
スーダン事業部



理事長 兼
スーダン事業現地代表
川原 尚行



ロジスティック・
マネージャー
令官 洋子



オペレーション・
マネージャー
寺田 美知子



巡回診療
インテリサル



総務/会計
ラビア



渉外
イブティサム



ドライバー
イスマツト



クリーナー
イルハーム



総務/ピザ
アルタイプ 茜

東京事務所



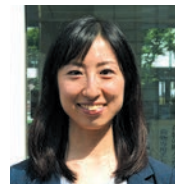
事務局長
星野 賢一郎



支援者リレーションズ
マネージャー
吉川 操



経理/総務
宮崎 毅



事業部
堺 遥



支援者リレーションズ
塩田 愛



支援者リレーションズ
切通 陽子

北九州本部

役員一覧

理事長 川原 尚行
副理事長 竹中 賢治

理事 片山 憲一
理事 高山 義浩
理事 武藤 義博
理事 海原 六郎
理事 星野 賢一郎
監事 樋上 弥寿子
監事 神尾 康生

組織概要

名称 特定非営利活動法人ロシナンテス
略称 認定NPO法人ロシナンテス
設立 2005年10月(NPO法人設立 2006年5月)
所在地 〒802-0082
福岡県北九州市小倉北区古船場町1番35号
北九州市立商工貿易会館7階

2017年度メディア紹介一覧

(北九州本部)

新聞

毎日新聞(4/25)「スーダンの1万人に安全な水を!クラウドファンディング紹介」/読売新聞(5/17)「アフリカ支援ネット資金で、北九州のNPO 専門の若手加入」/東京新聞(5/22)活動報告会(東京)告知/東京新聞(5/29)「スーダン医療活動・川原医師 継続支援 必要性語る」活動報告会(東京)/毎日新聞(6/21)「スターフライヤー空席 ロシナンテスに無償提供」スターフライヤーからの支援紹介/西日本新聞(6/21)「ロシナンテス」にスタフラが輸送協力」スターフライヤーからの支援紹介/西日本新聞(9/19)北九州市主催イベントとして実施した活動報告会告知(出稿:北九州市)/読売新聞(10/3)九州大学東京同窓会レポート/熊本日日新聞(10/12)「自立へ対等支援を スーダン医療で医師講演」熊本県立済々黴高校での講演/毎日新聞(10/26)「ロシナンテス活動報告会 スーダンでの医療支援など」活動報告会/読売新聞(11/14)「アフリカでの支援活動語る NPO理事長が特別授業」北九州市内小学校での特別授業/読売新聞(11/20)「途上国の医療支援拡大 スーダン以外にも」/上毛新聞(12/2)「どう生きるかとても大事」医師の川原さん高校生に語る」群馬県高崎市での講演/上毛新聞(12/25)年末記者めーる2017「異国で働く医師との再会」記者コラム/毎日新聞(2018/2/12)「スーダン診療所3棟目完成 NPOロシナンテス 25日報告会」/毎日新聞(2018/2/26)「井戸できれいな水を スーダンで医療支援」活動報告会/読売新聞(2018/2/26)「スーダン医療支援報告」活動報告会/毎日新聞(2018/3/16)「スーダンに井戸を」共同募金 北九州市のNPO「ロシナンテス」と京都・清水寺」/読売新聞(2018/3/17)「スーダンに井戸」募金開始 ロシナンテス 清水寺の協力で活動」

テレビ・ラジオ

【テレビ】TV東京系(4/3)「世界ナゼそこに?日本人」2時間スペシャル/NHK Eテレ(9/4~)NHK高校講座コミュニケーション英語I「医師・川原尚行さんインタビュー(4回)」/J:COM(11/16)チャンネル11ch「デイリーニュース」※ケーブルテレビ局/NHK北九州(2018/3/24)ニュース「北九州のNPO スーダンに「井戸建設」へ募金活動」
【ラジオ】RCC中国放送(10/14)「一文字弥太郎の週末ナチュラリスト」 翌15日の広島講演会告知

雑誌・広報誌・書籍・教科書

済生No.1058平成29年8月号(平成29年8月)社会福祉法人恩賜財団済生会 特別寄稿「スーダンに「医」を届ける! 井戸を掘り、学校をつくり、住民、地方行政と共に巡回診療」川原理事長によるロシナンテス活動紹介/済生No.1058平成29年8月号(平成29年8月)社会福祉法人恩賜財団済生会 topics「ロシナンテス一行が来訪」スーダン人医療関係者の研修として済生会八幡総合病院および老健くれたけ荘を訪問した際の記事/北九州市政だより2017年9月15日号(2017年9月15日)「NPO・市民講演会「国際NGOロシナンテスの挑戦」」講演会告知/キーネットニュース第50号(2017年9月20日)北九州国際交流団体ネットワーク 団体紹介/岩国ライオンズクラブ第58期会報(2017年10月1日)岩国ライオンズクラブ 同クラブがロシナンテス支援として長年続けている「ハチドリ基金」の紹介/キラ☆キラ No.189平成29年11月号(平成29年11月)北九州市市民活動サポートセンター「国際NGOロシナンテスの挑戦~北九州市民とともに~」活動報告会の模様/Mother Comet No.22(2018.January)株式会社スターフライヤー「スターフライヤー「国際NGOロシナンテス」に輸送協力」※スターフライヤー機内誌/あおぞら通信冬号 新年特集2018(2018年1月)ブルークリニック青山 活動支援の紹介/北九州市医報(平成30年1月1日)公益財団法人北九州市医師会 特集海外での感染症事情「北九州からスーダンへの医療支援」川原理事長によるロシナンテス活動紹介/60年の歩み(創設60周年誌)公益財団法人芳賀文化財団 第18回ボランティア顕彰被表彰者として紹介/AERA MOOK「AERA Premium 医者・医学部がわかる 2018」(2018年2月)株式会社朝日新聞出版 巻頭インタビュー記事/雲のうえ28号(2018年2月)北九州市にぎわいづくり懇話会/Viva! English Communication II(2018年)第一学習社「LION IN THE WIND」高等学校英語教材:さだまさしさんの楽曲「風に立つライオン」を取り上げたテキスト内で活動を紹介

2017年度講演会・イベント実績

講演会

【川原尚行】(4/30)日本外科学会市民公開講座(群馬県) (5/20)JA長野厚生連佐久総合病院 病院祭 (5/26)八幡西ロータリークラブ卓話 (6/7)JA北九青色申告会 (6/10)千葉県民主医療機関連合会 (6/13)済生会福岡総合病院 (6/22)公益社団法人東京都看護協会 (6/23)JICA本部(東京都) (10/3)臨済宗妙心寺派花園会 平和・復興のいのり(京都府) (10/3)花園中学高等学校(京都府) (10/6)熊本県立済々黴高等学校 (10/7)小金井市立小金井第二中学校(東京都) (10/15)広島講演会(川原尚行先生を応援する会 広島) (10/21)北九州市平成29年度NPO・市民講演会 (11/13)北九州市立あやめが丘小学校 (11/15)JICA九州 草の根事業終了報告会(北九州市) (11/17)日本消化器癌発生学会(熊本県) (12/1)高崎北ロータリークラブ(群馬県:高校生対象) (2018/1/16)門司ロータリークラブ卓話 (2018/2/9)日本消化管学会(東京都)
【星野賢一郎】(6/6)熊本大学

広報イベント

(5/21)活動報告会2017春@北九州(北九州市立商工貿易会館) (5/27)活動報告会2017春@東京(北区滝野川会館) (10/14)活動報告会2017秋@東京(北区滝野川会館) (10/21)活動報告会2017秋@北九州(北九州市立子どもの館 子どもホール)※北九州市主催の「平成29年度NPO・市民講演会」の一環として開催 (2018/2/18~20)ナガサキピーススフィア貝の火運動 ピーススフィア関東 パネル展 大切な命を守るために~アフリカ医療活動の軌跡~(文京区シビックセンター) (2018/2/24)活動報告会2018冬@東京(東京都看護協会会館) (2018/2/25)活動報告会2018冬@北九州(北九州市立商工貿易会館)



いつもロシナンテスをご支援くださり、心より感謝申し上げます。

おかげさまで、スーダンの社会インフラが十分でない地域において「医」を届ける事業を継続することができています。

2014年からスタートした「ハルツーム州シャルガニール郡における僻地診療改善プロジェクト」(JICA草の根技術協力)は、3年間の事業期間を終了しました。終了後に行った地域住民へのアンケート調査では、非常に満足しているとの結果が出ました。地域医療の質向上、また住民の健康に対する意識の向上において、一定の成果を出せたのではないかと受け止めています。今後は、ハルツーム州保健省がこの事業を継承します。私たちは隣接する地域で新たな地域医療を開始する予定であり、そのための協議を続けています。

2018年1月、「土とレンガの診療所プロ

ジェクト」の締めくりとなる、3つめの診療所がウッド・シュウエイン村に完成しました。先に完成している2つの診療所はハルツーム州保健省による運営が始まっており、3つめの診療所も稼働に向けてスタッフの研修を行っています。今後はこれらの診療所に加え、同地域で準備中の水事業や、健康を守るための住民への教育が、住民一人ひとりの健康改善や地域の発展に貢献することでしょう。

北コルドファン州では、WFP(世界食糧計画)と協働での栄養改善事業を継続しており、栄養が足りない乳幼児や妊産婦、授乳婦の栄養改善を支援しています。また、同州においてきれいで安全な水を供給するため、井戸掘削に向けた調査を進めています。

これまで日本におけるロシナンテスの事務所は北九州のみでしたが、外務省、駐日

スーダン大使館などとの交渉や幅広い人材確保、他NGOとの情報交換のため、東京に新たな事務所を開設しました。今後は、北九州本部と東京事務所の国内2拠点からアフリカにおける事業を支えていきます。

2017年10月、長きにわたり米国からスーダンに課されていた経済制裁がようやく解除されました。しかし、経済は期待されたようには上向いていません。このような状況のなか、社会インフラが整っていない地域で困っている人たちに「医」を届けられるよう、スーダンと日本のスタッフで力を合わせて事業を推進して参ります。

今後ともロシナンテスのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

ロシナンテス理事長 兼
スーダン現地代表

川原尚行

ロシナンテスは皆様の継続的なご支援を求めています。

継続的寄付

- クレジットカード 1,000円から ▶ ロシナンテスのホームページからお手続きください。
- 銀行口座自動振替 1,000円から ▶ 所定の申込用紙を送付させていただきますのでロシナンテスまでご連絡ください。
(毎月・毎年の定額寄付で長期的な活動ができます)

今回のみ寄付

- クレジットカード 1,000円から ▶ ロシナンテスのホームページからお手続きください。
- 郵便局 恐れ入りますが、払込手数料をご負担願います ▶ 郵便局備え付けの払込取扱票をご利用いただくか、下記の口座へお払い込みください。
口座記号:01720-3 口座番号:74330 店名:一七九 加入者名:NPO法人ロシナンテス
- 郵便局 恐れ入りますが、払込手数料をご負担願います ▶ 金融機関:福岡銀行 三萩野支店(みはぎの) 預金種類:普通 口座番号:1733240 口座名義:特定非営利活動法人ロシナンテス

ご注意

郵便局もしくは銀行口座へ振り込みされる方で、「領収書」をご希望の場合は必要項目を電話、FAXまたはメールでお知らせください。必要項目①振り込み日 ②振込者情報(お名前、ご住所) ③振り込み金額

ロシナンテスへのご寄付は、寄付金控除等の税の優遇措置を受けることができます。

例えば

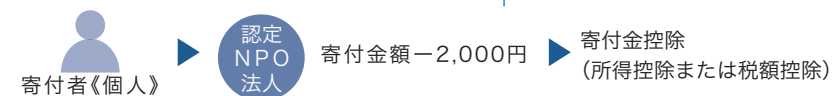
個人で毎月1,000円クレジットカードで寄付した場合、総寄付額は、
1,000円×12か月=12,000円ですが、確定申告で税額控除の適用を受けることで(12,000円-2,000円)×40%=4,000円が還付されるため、
実質年間ご負担額は、8,000円(=12,000円-4,000円)となります。

※これらを受けるためにはロシナンテス発行の「領収書」が必要です。

個人からのご寄付の場合

個人所得税の寄付金控除について
個人が各年において支出した認定NPO法人に対する寄付金で、その寄付額が2,000円を超える場合には、確定申告の際に所得税の寄付金控除として「税額控除」または「所得控除」のいずれかが選択適用できます。
※年間寄付額や所得税率などによって有利な選択が異なります。詳しくは税務署等にご確認ください。

個人住民税(地方税)の寄付金控除について
寄付者がお住まいの都道府県または市区町村が条例で指定した認定NPO法人等に寄付した場合に適用されます。
※お住まいの都道府県または市区町村にご確認ください。



法人からのご寄付の場合

一般のNPO法人等に寄付した場合の「一般損金算入限度額」とは別枠の「特別損金算入限度額」が適用されます。なお、寄付総額が「特別損金算入限度額」を超える場合には、その超える部分の金額を「一般損金算入限度額」に算入することができます。



遺贈をお考えの方へ

遺言によって、ご自身の財産の一部またはすべてを特定の個人や団体に与える遺贈。近年、認定NPO法人へ遺産を寄付したいと考える方が増えており、ロシナンテスもお問い合わせをいただくようになりました。

ロシナンテスでは「遺贈のご案内」(小冊子)をご用意しております。必要な手続きやよくある質問をまとめており、ご関心のある方に無料でお送りしています。

ご希望の方はロシナンテスまでお問い合わせください。

問合せ TEL:093-521-6470 (受付時間 平日10:00~17:00)
FAX:093-521-6471
✉ info@rocinantes.org

故人様とご遺族のやさしさを、明日をつくる命へ。

